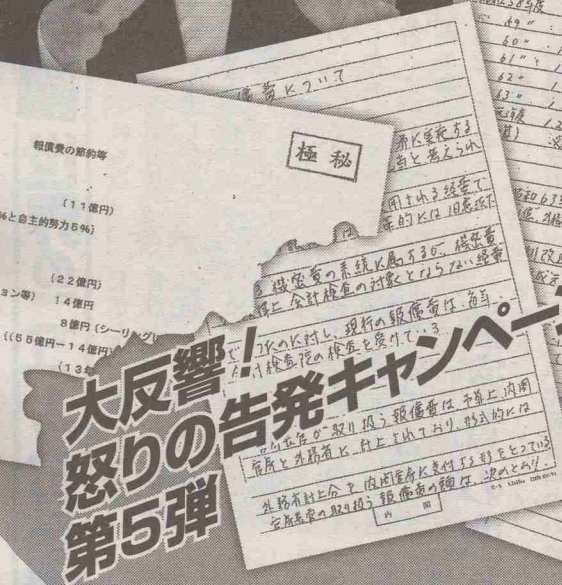


田原総一朗氏「最初は角栄氏から渡された」
新証言・証拠文書がまだまだ止まらない

ほか

官房機密費「極秘文書」で 15億円配布の カラクリを解明する

それでも
新聞・テレビは
完全無視



結局、民主党は自民党と同じ「悪習」を引き継ぐつもりなのだろうか。前官房長官の平野博文氏は、鳩山政権が退陣する直前の4月から5月にかけて3億円の機密費を引き出した。政権交代した昨年9月から今年2月までは毎月6000万円だった。退陣直前の2か月間で急増したことになる。しかも平野氏は、何に

使ったのかの記録を後継政権には「引き継がない」考えを表明し、仙谷由人・新官房長官もこの件については「聞いていないのでわからない」の一点張りだ。これでは、政権交代が決まった衆院選直後に機密費2億5000万円を引き出した河村建夫・元官房長官となんら変わらないではないか。ところが、質問主意書を

機密費の使い道をオープンにする制度作りを表明しておきながら、一切前進することなく鳩山政権は退陣した。菅新政権は機密費について頼破りを決め込んでいるが、そうはさせない。極秘内部資料をもとに、さらに機密費の暗部を抉る――。



上杉隆 (ジャーナリスト)
と本誌取材班